

2013年度 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム
「あさひかわオーブンカレッジ」のご案内

共催：旭川市教育委員会

日時：2013年9月7日～11月16日（土曜日）全6回 13:00～14:30

場所：ファイナル旭川7階 講義室（日によって場所が変わります。裏面へ記載）
一般社団法人旭川ウェルビーイング・コンソーシアムと旭川市教育委員会
とが連携し市民のための公開講座を開催します。

（資料代として各1講座、500円いただきます）

テーマは「もっと知りたい旭川 ～文化都市旭川にくらす～」

9月7日 「文学は旭川の文化財」

講師：旭川工業高等学校 教授 石本裕之

9月14日 「文学都市としての旭川」

講師：北海道教育大学 准教授 大橋賢一

9月21日「子ども等を介護負担から解放し、
在宅ケアで老後を生きる」

～旭川市近郊の高齢者の意識調査から～

講師：旭川大学 教授 高波澄子

11月2日「家具とインテリア」

～椅子を使ったコージョーコーナーの提案～

講師：東海大学 特任教授 織田憲嗣
あつぐ

11月9日「自由からの逃亡」を考える

～「自由」の真の意味とは～

講師：旭川大学短期大学部 教授 山下由紀夫

11月16日「日本の35万人市を比較してみよう」

～旭川は住みやすい市か～

講師：旭川医科大学 教授 藤尾 均

お申込み・お問合せ；旭川ウェルビーイング・コンソーシアム

サテライトキャンパス U-プラザ TEL&FAX 0166-26-0338

メールアドレス awbehireba@gmail.com



市民のための公開講座

本講座は、旭川市内の5大学1高専で組織する一般社団法人旭川ウェルビーイング・コンソーシアムと旭川市教育委員会とが連携して行う市民向け講座です。

旭川ウェルビーイング・コンソーシアムでは、市民のみなさんの身体的・精神的・社会的な健康の達成と、元気な地域の形成に貢献できるような様々な活動を行ってまいります。本講座も生涯教育のひとつとして、単なる知的興味の満足や伝達に終わるのではなく、ともに地域の課題を考え、地域づくりに取り組み契機となることをめざしております、お気軽にご参加ください。
(興味のある講座だけでも受講できます)

定員：各講座30名 募集開始日：8月20日(火)10時より
(道民カレッジ連携講座：各1単位)

講義概要：

9/7 「文学は旭川の文化財」

(共用会議室2)

AWBC今年度公開講座の大テーマは「もっと知りたい旭川」市民憲章に、「よりよいあさひかわをつくることに努めましょう。」とあります。旭川における「文化財としての文学」について、市民の皆さんと共に考えたいと思います。(石本 裕之)

9/14 「文学都市としての旭川」

(シニア大学)

旭川市は北海道の文学都市の一つといっても過言ではないでしょう。

井上靖や三浦綾子など全国に知られた作家が生まれた街としても有名ですが、旭川をうたった詩や作品も少なくありません。この講座ではそうした文学作品をとりあげ、旭川との関わりについてお話します。(大橋 憲一)

9/21 「子ども等を介護負担から解放し、

在宅ケアで老後を生きる」

(共用会議室2)

これからの行く末、現在の生活のあり様を変えずに子ども等との密接な関係を保ちながら暮らしたい、とする高齢者が多い中で、その対極にある「施設に入りたい」とする者の割合が高いということは、何を語っているのか。(高浪 澄子)

11/2 「家具とインテリア」

(シニア大学)

日本の住空間は欧米に比して狭く、また子ども部屋を優先するため、父親の居場所が無いということが起こりますが、畳一枚分のスペースとイージークチェアで居心地良い父親だけの居場所にする策をお話します。(織田 憲嗣)

11/9 「自由からの逃亡を考える」

(共用会議室2)

近代人は、「解放された自由」から、やがて孤独感や無力感、脱力感などを感じるようになるという。こうしたエーリッヒ・フロムの指摘や自由奔放な生涯を送った漂白の俳人種田山頭火の生き方などを手がかりとして、現代社会の病理について考えてみましょう。(山下 由紀夫)

11/16 「日本の35万人市を比較してみよう」

(シニア大学)

人口約35万人の市には、旭川のほかに、いわき・高崎・所沢・柏・長野・岡崎・豊橋・高槻・奈良・高知・宮崎などがあります。各市と比較すると、旭川の住みやすさ・住みにくさが見えてきます。人口密度・平均寿命・高齢化率・物価・医療費・離婚率など、多角的な視点から比較してみよう。

(藤尾 均)